

草あそび 花あそび

～身近な草や木の葉であそびましょう～

開催日：10月8日（土）
参加人数：14人
講師：佐藤 邦昭氏



今年で三回目となる「草あそび花あそび」です。直前まで、日本列島にはたて続けに台風がやって来て、やきもきさせましたが、今日はいい天気です。

初めに講師の佐藤先生の紹介に続いて、先生の挨拶があり、先生からはイベントの趣旨の説明の後、「じっくり見ることが大事。15秒目をつぶって、思い浮かべると、気が付かないことに気がつく」と、お話がありました。

比べてみよう



秋の野山には、ススキとオギの花が咲いています。似ているようだけれど、ルーペでのぞいて見ると違います。

左がオギで、同じ長さの毛が集まっています。右がススキで、毛は元の方だけにあり、長い「のぎ(芒)」が中ほどで伸びています。「すすき」は漢字で「芒」と書きます。昔の人は良く観察していました。

エノコログサでリスをつくろう



エノコログサは、ねこじゃらしともいうよ



こうして、まず、頭を作ります



リスの頭に胴がついて



尾が付くとリスの完成



リス あれこれ 何とかつくれました

イノコヅチでやじろべい



イノコヅチは道端などどこにでもある草



枝と茎をいかして、ひっくり返すと「やじろべい」に早変わり

ヤマブキであそぼう



ヤマブキの芯(髓)を小枝で押すと、最後に「ポン」といい音がします。芯が抜けた後、下を抑えて笛に

ヨウシュヤマゴボウで草木染



ヨウシュヤマゴボウのブドウのような実をつぶしてインクを作り、布に染めたり、ヤマブキの芯のペンで絵を描きました

今回はドングリのほかまで音を出したり、トクサで笛を吹いたり、スズメウリやイチイの実を味わったり、にぎやかな体験・あそびが一杯でした